

皆さん、こんにちは。サラです。突然ですが、今まで皆さんが経験されてきた夏休みはどのくらいの期間でしたでしょうか。

日本の小中学校だと、大体が7月下旬から8月末ぐらいまでの1ヵ月ほどの夏休みが標準的かと思います。

日本には数多くの祝日があり、大変素晴らしいと思いますが、その反面、夏休みが1ヵ月ほどしかないのは、アメリカで育った私にとっては少し寂しく感じてしまいます。なぜなら、アメリカでは学生の時には、平均で3ヵ月ほどの夏休みがあるからです。

アメリカでは、日本のように数多くの休日が月に1回ほどの頻度で訪れることはありませんが、代わりに夏休みの期間は非常に長くなっています。夏休み期間中には、課題として数冊の本を読むように指示されますが、それでも多くのゆとりある時間が生まれます。

私はこの夏休み期間を利用して、家族とともにデ

イキャンプを楽しみ、家族の素晴らしさを再確認したり、自然豊かなアメリカ中の国立公園を訪れ、自然の素晴らしさを確認。また、ロードトリップといって遠くの親戚の家に両親の自動車に乗って14時間、最も遠い親戚の家では2日ほどかけて向かい、親戚と交流等を楽しみました。

この3ヵ月ほどの夏休みを利用して、私の国では、新しい見識を深め、家族の大切さを再確認し、友達との絆を深めます。また、何よりも3ヵ月間という長い休暇で、心身ともにリフレッシュすることができます。

日本では、なかなか長期的な休暇を取ることは難しいかもしれませんが、長期的な休暇は私たちに新しい

発見や再確認をする重要なものであると思います。皆さんも、もしも長期的な休暇を取ることができたら、さまざまな発見のために、有意義に過ごされてみてはいかがでしょうか。

ALTリレーコラムは、4月号から2ヵ月に1度掲載しています。



長期休暇によって、家族の大切さを再確認することができました

時の贈り物 [第115回 ノー電気生活～衣服のしわ伸ばし今昔～]

三河内郷土資料室に収蔵している昔の生活道具を紹介します。皆さんのご家庭にもアイロンがあると思います。洗濯した衣服やしまい込んでいたものなどに当てて、熱と重みと蒸気とで繊維を伸ばすわけですが、熱や蒸気を生む電気がなかったころはどうしていたのでしょうか。

写真は「火のし」と呼ばれるものです。どれも炭火を中に入れて使います。写真右端の片手鍋状のものが最も古く、平安時代に編さんされた辞書『倭名類聚抄』には「火熨斗」の記載があり、貴族の邸宅などで使われていたといわれています。柄を手にとって平らになっている鍋の底の部分を衣類に当てて、鍋自体の重みと熱とで押し伸ばすようにして使いました。冬には寝る前に布団を温めるといった使い方もされたようです。



さまざまな「火のし」

明治時代には現代のアイロンに似た形状をした左端の炭火式アイロン「西洋火のし」が輸入されるようになります。内部のガスを逃がす煙突が付いているのが特徴です。三河内郷土資料室には、さまざまな昔の生活道具を

開館日 土・日曜日
(年末年始を除く)
(与謝野町教育委員会)

入室料 一般150円
(中学生以下無料)

図書館へ行こう！

読書で旅行気分

今年も旅行は難しいかもしれませんが、本ならいろんな場所へ連れて行ってくれます。おうち時間に読書で旅行気分を味わいませんか？

『旅する54字の物語 超短編小説で読む47都道府県』 氏田雄介・武田侑大 / PHP研究所



文章を読むことが苦手な人におすすめしたい、たった54文字で綴られる物語集。47都道府県の観光地や名物などご当地の話題で、自宅で気軽に日本一周できる82話を収録。短い文章に隠された意味や表現が新鮮なおもしろさです。

『わくわく！れっしゃでかぞくりょう』

サトシン / 羽尻利門 / 交通新聞社



電車が大好きなお子さんに読み聞かせしてほしい1冊。普通の電車から特急に乗り換えると、窓からの景色はぐんぐん流れ、車を追い越していきます。タイトルのとおり旅行のわくわく感が伝わる絵本。

今月の
新着図書

一般書 ●『どこへ行っても恥をかかない世界の「常識」図鑑』御手洗昭治/総合法令出版 ●『最新！初めての育児新百科』高橋孝雄/ベネッセコーポレーション ●『アーノルド・ローベルの全仕事』ブルーシブ ●『大きな字でわかりやすいパソコン入門』AYURA/技術評論社 ●『クララとお日さま』カズオ・イシグロ/早川書房 ●『曲亭の家』西條奈加/角川春樹事務所 ●『キネマの神様』原田マハ/文藝春秋 ●『白鳥とコウモリ』東野圭吾/幻冬舎 ●『こころの散歩』五木寛之/新潮社

図書館の最新情報等はホームページから

図書館の最新情報やイベント情報、休館情報はホームページからご確認いただけます。



図書館HP



江山文庫読書会 与謝野晶子の童話を読む
「蛭のお見舞」

■日時 6月25日(金) ※毎月第4金曜日
午後1時30分～3時
■問い合わせ先 江山文庫 ☎ 43-2180

●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
●開館時間／午前10時～午後6時 ●休館日／毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)